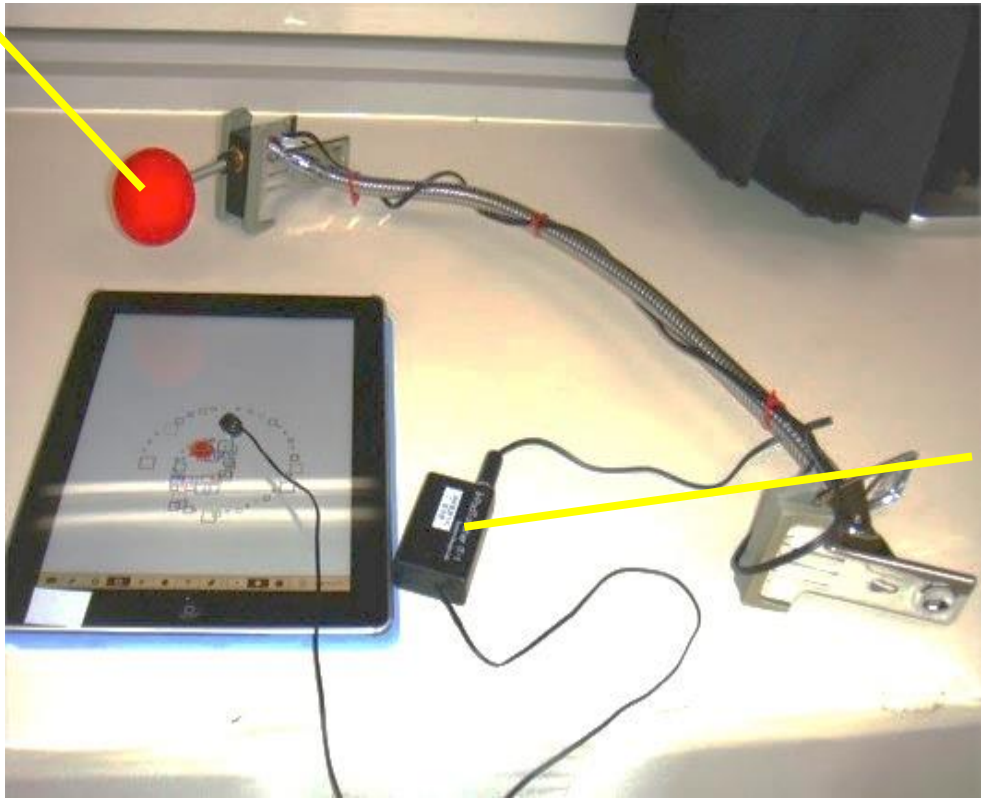
２．　「体感振動スピーカー」

～音楽を振動をとおして、身体で楽しむ～



3．「iPadタッチャー・押しボタンスイッチ」

～押しボタンスイッチを用いて、iPadを操作する～

＜活用例１：スイッチを押して音を聞く＞

口をあけ、ボタンスイッチ（赤）を顎で押し、
iPadを操作して音を出したり、曲をかけたりする。

＜活用例２：返事＞

・iPadに「返事」や「登下校のあいさつ」（音声）を事前に録音しておく。

・顎でスイッチを押し、返事やあいさつをする。

＜活用例３：登下校の挨拶＞

脈拍数≒心拍数（HR）

4.「$iSpO_2$」

～心拍数（脈拍数）の変化を計測する～

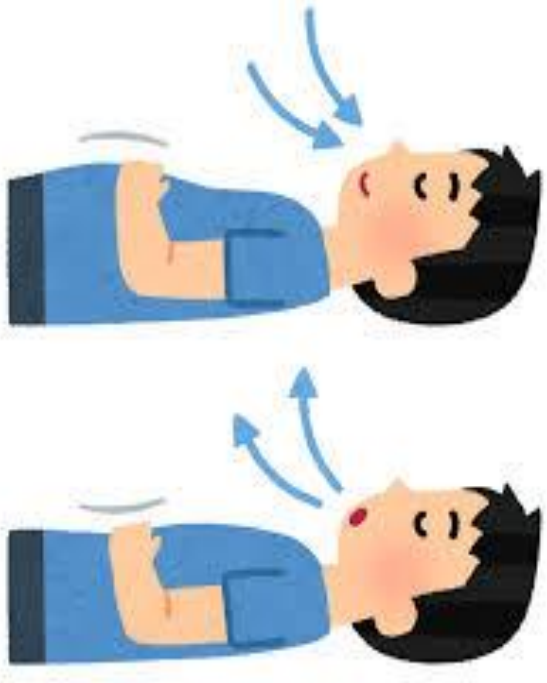
$iSpO_2$は、スマートフォンやポータブル端末に接続して使用できる。
SpO_2(動脈血酸素飽和度)、脈拍数などを表示。
脈波形、ハルス音で身体の状態をより深く把握できる。
測定履歴は12時間分保存可能、データはEメールで送信できる。

＜活用例:「足湯」＞

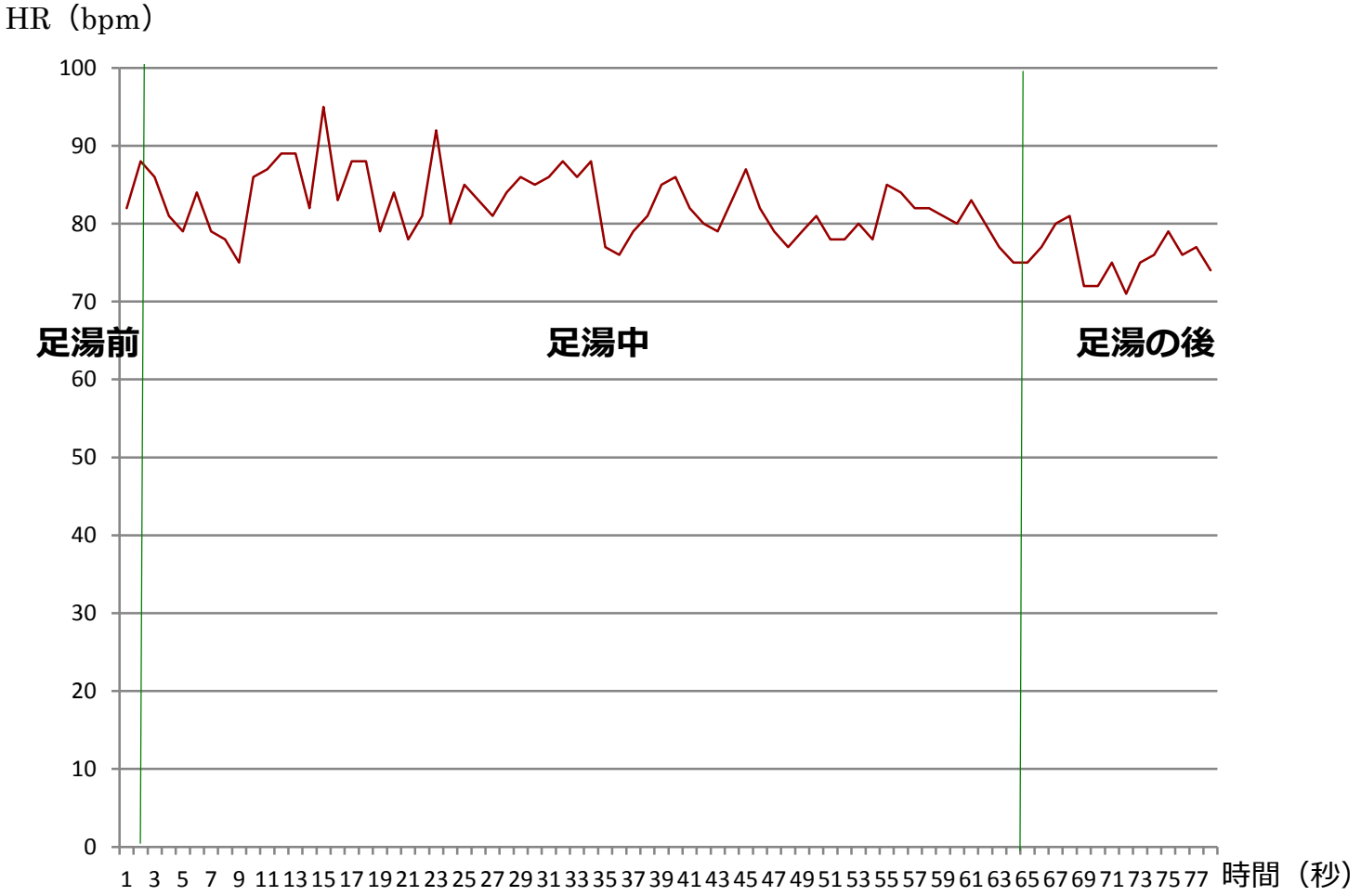
ねらい:筋緊張を弛めリラックスする。

① 活動中に見られた表情や身体の動き（行動観察）

表情が和らいだ



呼吸が深くなった

②　足湯の前・中・後の心拍数（HR）の変化

→　足湯前に比べると、足湯後の心拍数が減少した（リラックスした）